

2026 年 度
国 家 公 務 員

海上保安学校学生採用試験

- 高等学校卒業程度 -

受 験 案 内

人事院・海上保安庁



「うみまる」と「うーみん」

◇試験の区分◇

一般課程、航空課程、管制課程、海洋科学課程

◇試験の日程◇

受 付 期 間		申込みは、インターネットにより行ってください。 7月10日（金）9:00 ～ 7月23日（木）[受信有効] ※ インターネット環境（原則パソコン）及びプリンターが必要になります。◇受付から第1次試験日までの注意事項◇（7ページ参照）をよく読んでください。
第 1 次 試 験 日		9月27日（日） ・ 一般課程 9:00（受付開始） 9:30（試験開始）～ 12:40（試験終了） ・ 航空課程、管制課程、海洋科学課程 9:00（受付開始） 9:30（試験開始）～ 14:45（試験終了）
第1次試験合格者発表日		10月14日（水）9:00
第 2 次 試 験 日		10月20日（火）～ 10月29日（木） 第1次試験合格通知書で指定する日時（航空課程は2日間） （日時の変更は、原則として認められません。）
最終合格者発表日 （航空課程を除く。） 第2次試験合格者発表日 （航空課程）		11月24日（火）9:00
航空課程のみ	第 3 次 試 験 日	12月5日（土）～ 12月15日（火） 第2次試験合格通知書で指定する2日間 （日時の変更は、原則として認められません。）
	最終合格者発表日	2027(令和9)年1月14日（木）9:00

◇受験資格◇

- (1) 2026(令和8)年4月1日において高等学校又は中等教育学校を卒業した日の翌日から起算して12年を経過していない者及び2027(令和9)年3月までに高等学校又は中等教育学校を卒業する見込みの者
- (2) 高等専門学校の第3学年の課程を修了した者であって、2026(令和8)年4月1日において当該課程を修了した日の翌日から起算して12年を経過していないもの及び2027(令和9)年3月までに当該課程を修了する見込みの者
- (3) 高等学校卒業程度認定試験に合格した者であって、2026(令和8)年4月1日において、当該試験に合格した日の翌日から起算して12年を経過していないもの等人事院が(1)に掲げる者と同等の資格があると認める者

* 次のいずれかに該当する者は受験できません。

- (1) 日本の国籍を有しない者
- (2) 国家公務員法第38条の規定により国家公務員となることができない者
 - 拘禁刑以上の刑に処せられ、その執行を終わるまでの者又はその刑の執行猶予の期間中の者その他その執行を受けることがなくなるまでの者
 - 一般職の国家公務員として懲戒免職の処分を受け、その処分の日から2年を経過しない者
 - 日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者
- (3) 平成11年改正前の民法の規定による準禁治産の宣告を受けている者(心神耗弱を原因とするもの以外)

◇試験種目・試験の方法◇

【一般課程】

試験	試験種目	解答題数 解答時間	配点比率	内 容
第1次試験	基礎能力試験 (多肢選択式)	40題 1時間30分	$\frac{3}{4}$	公務員として必要な基礎的な能力(知能及び知識)についての筆記試験 出題数は40題 知能分野 20題(文章理解⑦、課題処理⑦、数的処理④、資料解釈②) 知識分野 20題(自然科学⑤、人文科学⑧、社会科学⑥、情報①)
	作文試験	1題 50分	*	文章による表現力、課題に対する理解力などについての筆記試験
第2次試験	人物試験		$\frac{1}{4}$	人柄、対人的能力などについての個別面接
	身体検査		*	主として胸部疾患(胸部エックス線撮影を含む。)、血圧、尿、その他一般内科系検査
	身体測定		*	視力、色覚、聴力についての測定
	体力検査		*	反復横跳び、上体起こし、鉄棒両手ぶら下がりによる身体の筋持久力等についての検査

(注) 1 ○内の数字は出題予定数です。

- 2 第1次試験合格者は、「基礎能力試験(多肢選択式)」の成績で決定します。
「作文試験」は、第1次試験合格者を対象に評定した上で、最終合格者決定に反映します。
- 3 「配点比率」欄に*が表示されている試験種目は可否の判定のみを行い、その他の試験種目は得点化しています。
- 4 第2次試験の際、人物試験の参考とするため、性格検査を行います。
- 5 身体検査の際に、既往歴及び手術歴について確認します。
- 6 一般内科系検査は、呼吸器、循環器、眼、耳鼻咽喉などの検査項目について、視診・問診・聴打診を行います。
- 7 合格者の決定方法の詳細については、国家公務員試験採用情報NAVIを御覧ください。

【航空課程】

試験	試験種目	解答題数 解答時間	配点比率	内 容
第1次試験	基礎能力試験 (多肢選択式)	40題 1時間30分	$\frac{3}{8}$	公務員として必要な基礎的な能力（知能及び知識）についての筆記試験 出題数は40題 知能分野 20題（文章理解⑦、課題処理⑦、数的処理④、資料解釈②） 知識分野 20題（自然科学⑤、人文科学⑧、社会科学⑥、情報①）
	学科試験 (多肢選択式)	26題 2時間	$\frac{3}{8}$	数学及び英語についての筆記試験 出題数は26題 数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A（図形の性質、場合の数と確率の分野に限る。）、数学B（数列の分野に限る。）、数学C（ベクトルの分野に限る。）⑬、 英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ⑬
第2次試験	身体検査		*	一般検査、呼吸器系検査、循環器系及び脈管系検査、消化器系検査（口腔及び歯牙を除く。）、血液及び造血器系検査、腎臓、泌尿器系及び生殖器系検査、運動器系検査、眼検査、視機能検査、耳鼻咽喉検査、聴力検査、口腔及び歯牙検査、総合検査
	身体測定		*	身長、体重、視力、色覚、聴力についての測定
	体力検査		*	反復横跳び、上体起こし、鉄棒両手ぶら下がりによる身体の筋持久力等についての検査
第3次試験	人物試験		$\frac{2}{8}$	人柄、对人的能力などについての個別面接
	身体検査		*	精神及び神経系検査
	適性検査		*	模擬飛行装置等を使用しての操縦検査

（注）1 ○内の数字は出題予定数であり、「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A（図形の性質、場合の数と確率の分野に限る。）、数学B（数列の分野に限る。）、数学C（ベクトルの分野に限る。）⑬」とは、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A（図形の性質、場合の数と確率の分野に限る。）、数学B（数列の分野に限る。）、数学C（ベクトルの分野に限る。）の出題分野から13題出題予定であることを示します。

- 「配点比率」欄に*が表示されている試験種目は可否の判定のみを行い、その他の試験種目は得点化しています。
- 身体検査の際に、既往歴及び手術歴について確認します。
- 第3次試験の際、人物試験の参考とするため、性格検査を行います。
- 合格者の決定方法の詳細については、国家公務員試験採用情報NAV Iを御覧ください。

【管制課程】

試験	試験種目	解答題数 解答時間	配点比率	内 容
第1次試験	基礎能力試験 (多肢選択式)	40題 1時間30分	$\frac{3}{8}$	公務員として必要な基礎的な能力（知能及び知識）についての筆記試験 出題数は40題 知能分野 20題（文章理解⑦、課題処理⑦、数的処理④、資料解釈②） 知識分野 20題（自然科学⑤、人文科学⑧、社会科学⑥、情報①）
	学科試験 (多肢選択式)	26題 2時間	$\frac{3}{8}$	数学及び英語についての筆記試験 出題数は26題 数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A（図形の性質、場合の数と確率の分野に限る。）、数学B（数列の分野に限る。）、数学C（ベクトルの分野に限る。）⑬、 英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ⑬
第2次試験	人 物 試 験		$\frac{2}{8}$	人柄、对人的能力などについての個別面接
	身 体 検 査		*	主として胸部疾患（胸部エックス線撮影を含む。）、血圧、尿、その他一般内科系検査
	身 体 測 定		*	視力、色覚、聴力についての測定
	体 力 検 査		*	反復横跳び、上体起こし、鉄棒両手ぶら下がりによる身体の筋持久力等についての検査

（注）1 ○内の数字は出題予定数であり、「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A（図形の性質、場合の数と確率の分野に限る。）、数学B（数列の分野に限る。）、数学C（ベクトルの分野に限る。）⑬」とは、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A（図形の性質、場合の数と確率の分野に限る。）、数学B（数列の分野に限る。）、数学C（ベクトルの分野に限る。）の出題分野から13題出題予定であることを示します。

- 「配点比率」欄に*が表示されている試験種目は可否の判定のみを行い、その他の試験種目は得点化しています。
- 第2次試験の際、人物試験の参考とするため、性格検査を行います。
- 身体検査の際に、既往歴及び手術歴について確認します。
- 一般内科系検査は、呼吸器、循環器、眼、耳鼻咽喉などの検査項目について、視診・問診・聴打診を行います。
- 合格者の決定方法の詳細については、国家公務員試験採用情報NAV Iを御覧ください。

【海洋科学課程】

試験	試験種目	解答題数 解答時間	配点比率	内 容
第1次試験	基礎能力試験 (多肢選択式)	40題 1時間30分	$\frac{3}{8}$	公務員として必要な基礎的な能力（知能及び知識）についての筆記試験 出題数は40題 知能分野 20題（文章理解⑦、課題処理⑦、数的処理④、資料解釈②） 知識分野 20題（自然科学⑤、人文科学⑧、社会科学⑥、情報①）
	学科試験 (多肢選択式)	26題 2時間	$\frac{3}{8}$	数学及び英語についての筆記試験 出題数は26題 数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A（図形の性質、場合の数と確率の分野に限る。）⑬、数学B（数列の分野に限る。）、数学C（ベクトルの分野に限る。）⑬、 英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ⑬
第2次試験	人 物 試 験		$\frac{2}{8}$	人柄、対人的能力などについての個別面接
	身 体 検 査		*	主として胸部疾患（胸部エックス線撮影を含む。）、血圧、尿、その他一般内科系検査
	身 体 測 定		*	視力、色覚、聴力についての測定
	体 力 検 査		*	鉄棒両手ぶら下がりによる検査

(注) 1 ○内の数字は出題予定数であり、「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A（図形の性質、場合の数と確率の分野に限る。）、数学B（数列の分野に限る。）、数学C（ベクトルの分野に限る。）⑬」とは、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A（図形の性質、場合の数と確率の分野に限る。）、数学B（数列の分野に限る。）、数学C（ベクトルの分野に限る。）の出題分野から13題出題予定であることを示します。

- 「配点比率」欄に*が表示されている試験種目は可否の判定のみを行い、その他の試験種目は得点化しています。
- 第2次試験の際、人物試験の参考とするため、性格検査を行います。
- 身体検査の際に、既往歴及び手術歴について確認します。
- 一般内科系検査は、呼吸器、循環器、眼、耳鼻咽喉などの検査項目について、視診・問診・聴打診を行います。
- 合格者の決定方法の詳細については、国家公務員試験採用情報NAV Iを御覧ください。

◎ 体力検査の内容

次のいずれかに該当する場合は、体力検査で不合格となります。

- 「反復横跳び」及び「上体起こし」において、第一水準に2つとも達しない場合又は第二水準に達しないものが1つでもある場合

反復横跳び（敏しょう性）・・・100cm間隔に引かれた3本のライン上で、20秒間のうちに何回サイドステップすることができるかを検査します。第一水準は男子47回以上、女子39回以上、第二水準は男子40回以上、女子32回以上です。

上体起こし（筋持久力）・・・ひざを曲げ、あおむきに寝た姿勢から、30秒間のうちに何回上体を起こすことができるかを検査します。第一水準は男子22回以上、女子15回以上、第二水準は男子17回以上、女子9回以上です。

- 「鉄棒両手ぶら下がり」が10秒未満の場合

鉄 棒 両 手 ぶ ら 下 が り・・・水平に設置された直径約2.8cmの鉄棒を両手で握り、両足を床から離してぶら下がり、10秒以上耐えることができるかを検査します。

次のいずれかに該当する者は不合格となります。

※申込みに当たっては、以下の基準（数値）に十分留意してください。

一般課程、管制課程、海洋科学課程

- 視力（裸眼又は矯正）がどちらか一眼でも0.6に満たない者
- 色覚に異常のある者（職務遂行に支障のない程度の者は差し支えない。）
- どちらか片耳でも2,000、1,000、500各ヘルツでの検査結果をもとに算出した聴力レベルデシベルが、40デシベル以上の音の失聴のある者
- 四肢の運動機能に異常のある者

航空課程

- 身長が158cmに満たない者又は190cmを超える者
- 体重が男子48kg、女子41kgに満たない者
- 各眼が裸眼で0.7以上及び両眼で1.0以上の遠見視力を有しない者又は各眼について、各レンズの屈折度が(±)8ジオプトリーを超えない範囲の常用眼鏡により0.7以上、かつ、両眼で1.0以上に矯正することができない者
- どちらか一眼でも80cmの視距離で、裸眼又は矯正により近見視力表(30cm 視力用)の0.2の視標を判読できない者
- どちらか一眼でも30～50cmの視距離で、裸眼又は矯正により近見視力表(30cm 視力用)の0.5の視標を判読できない者
- 色覚に異常のある者（職務遂行に支障のない程度の者は差し支えない。）
- どちらか片耳でも、次のいずれかの失聴のある者
 - ・ 3,000ヘルツの周波数において50デシベル超
 - ・ 2,000ヘルツの周波数において35デシベル超
 - ・ 1,000ヘルツの周波数において35デシベル超
 - ・ 500ヘルツの周波数において35デシベル超
- その他航空業務遂行上支障のある者

※ 身体検査については、「航空身体検査マニュアル」（平成19年3月2日国空乗第531号国土交通省航空局長）の「Ⅲ 航空身体検査項目等」で定めている基準等に準じて実施します。

◇採用予定数◇

- | | |
|-------------|--------------|
| ・一般課程 約330名 | ・航空課程 約7名 |
| ・管制課程 約20名 | ・海洋科学課程 約20名 |

採用予定数は6月10日現在の見込みであり、今後変動する場合があります。変動があった場合には最新の情報を人事院ホームページ（国家公務員試験採用情報NAV I）に掲載する予定ですので、御確認ください。

◇試験地◇

第1次試験地			
札幌市	函館市	小樽市	旭川市
釧路市	青森市	盛岡市	仙台市
秋田市	水戸市	東京都	横浜市
新潟市	長野市	静岡市	名古屋市
金沢市	福井市	京都市	舞鶴市
大阪市	神戸市	和歌山市	米子市
広島市	高松市	松山市	高知市
福岡市	北九州市	長崎市	佐世保市
対馬市	熊本市	大分市	宮崎市
鹿児島市	奄美市	那覇市	石垣市

第2次試験地（航空課程を除く）		
小樽市	塩釜市	横浜市
新潟市	名古屋市	舞鶴市
神戸市	広島市	高松市
北九州市	鹿児島市	那覇市

第2次・第3次試験地（航空課程）
東京都

- (注) 1 第1次試験地及び第2次試験地については、それぞれ受験に便利な1都市を選んでください。
なお、航空課程の第2次試験地及び第3次試験地は東京都のみです。
- 2 試験場は、原則として上記都市内に設けますが、申込者数等の状況に応じて、上記都市周辺に設ける場合があります。
- 3 受験申込完了後における「試験地」の変更は認められません（8ページ参照）。

◇受験上の配慮について◇

身体の障害等があるため、着席位置の指定等、受験の際に何らかの措置を希望する場合は、あらかじめ申し出てください（事前の届出及び許可が必要です。）。

申込時にあらかじめその旨を第1次試験地に対応する海上保安本部等（12ページ参照）に必ず申し出るとともに、申込画面の該当項目に希望する措置の内容などを入力してください。

申出の内容や程度を確認の上、対応します。場合によっては、障害の程度を証明する書類を提出していただくことがあります。

なお、内容によっては、試験の実施上、配慮できない場合もあります。

◇受付から第1次試験日までの注意事項◇ ◇インターネット申込みの流れ◇（9ページ）と併せて御確認ください。

- 1 受付期間（インターネット申込み） 7月10日（金）9:00～7月23日（木）〔受信有効〕
7月23日（木）までに申込データを受信完了したものに限り受け付けます。余裕を持って申込手を完了してください。
- お使いのパソコンで申込手が可能かをチェックできます。インターネット申込専用アドレスへアクセスして、早めに確認してください。

2 申込方法

インターネット申込専用アドレス [\[https://www.jinji-shiken.go.jp/juken.html\]](https://www.jinji-shiken.go.jp/juken.html)

インターネット申込専用アドレスへアクセスして、説明に従って入力してください。

申込手続は、「事前登録」と「申込み」の2段階になっています（他の2026年度国家公務員採用試験において既に事前登録を行っており、ユーザーIDを持っている場合は、事前登録は不要です。）。

「事前登録」だけでは申込み完了にはなりません。「事前登録完了通知メール」及び「申込受付完了通知メール」が送信されますので必ず保存してください。

なお、ユーザーID、パスワード及びパスワードを忘れた際の質問に対する回答の照会には応じられないので、忘れないように必ず控えておいてください。

ユーザーID及びパスワードは、パーソナルレコード（「国家公務員採用試験インターネット申込み」ページの下方）にログインし、申込内容の確認、受験票、合格通知書のダウンロード及び個人の試験結果(成績)の確認を行う際にも必要になります。

ユーザーID		パスワードを忘れた際の 質問に対する回答	
パスワード			

予期せぬ機器停止や通信障害などが起きた場合のトラブルについては、一切責任を負いません。

3 申込みに関する注意事項

- (1) 申し込むことができる「試験の区分」、「試験地」は一つに限ります。また、申込完了後における変更は認められません。
ただし、「試験地」については、災害又は転居によりやむを得ないと認められる場合に限り、試験の実施に支障がない範囲（転居の場合は、8月4日（火）17:00までに申し出た場合に限る。）で変更が認められます。
- (2) 申込みは1回に限ります。異なるユーザーIDで同じ試験について複数の申込みをした場合、最後の申込み以外は無効とします。
- (3) 申込内容のうち、「住所」「電話番号」「メールアドレス」に訂正等がある場合は、パーソナルレコードにログインし、「申込内容を変更する」ボタンより訂正してください。なお、「氏名（カナ氏名含む）」「生年月日」「性別」に訂正等がある場合は、第1次試験の際に受け付けます。申込内容等の訂正を目的として再度申し込むことは絶対にしないでください。
- (4) 入力の際の誤りや漏れがある場合には、補正を行うため適宜連絡をします。申込みをした日から8月6日（木）の間（土・日曜日は除く。）は必ず連絡が取れるようにしてください。補正できなかった場合には、受験申込みの受理ができないことがあります。
また、第1次試験地に対応する海上保安本部等（12ページ参照）と連絡が取れるように、電話番号を携帯電話等に登録しておいてください。

4 受験票の作成方法

受験票のダウンロード期間は9月11日（金）13:00～9月24日（木）17:00です（**9月24日（木）17:00以降はダウンロードできません。**）。9月11日（金）13:00～17:00に「受験票発行通知メール」を送信する予定です。

期間中に、パーソナルレコードにログインし、受験票をダウンロードしてください。ダウンロード後に、A4サイズのコピー用紙（普通紙）に印刷（カラー、白黒どちらでも可）し、受験票記載の説明に従って受験票を作成してください。

なお、受験票は、本人であることが明瞭に確認できる写真（6か月以内に撮影した、脱帽・上半身・正面向きの縦4cm横3cmのもの。カラー・白黒どちらでも可）が必要です。パーソナルレコードから写真をアップロードした上で印刷する、又は受験票を印刷した上で直接写真を貼付する方法により作成し、第1次試験当日に必ず持参してください。

5 第1次試験に関する注意事項

- (1) 受験票がダウンロードできない場合は、「国家公務員採用試験インターネット申込み」ページの「インターネット申込みQ&A」を参照してください。期間中に受験票をダウンロードできなかった場合は、パーソナルレコードにログインして、必要な情報を確認してください。
また、受験票の内容に関する照会は、第1次試験地に対応する海上保安本部等（12ページ参照）に9月25日（金）17:00までに問い合わせてください。
- (2) 第1次試験の試験開始時刻（9:30）に遅れた場合は、受験は認められません。受験票記載の試験場において必ず試験開始時刻までに受付（9:00開始）を済ませ、指定された席に着席してください。
また、試験場によっては、試験場入口と受付場所が相当離れているところもありますので、時間に余裕を持って行動してください。
- (3) 試験実施中にスマートフォンなどの携帯電話、タブレット端末、スマートウォッチ、スマートグラス、電子辞書等の電子機器類を操作した場合、操作しなくても身に付けていた場合、机の上や机の中に置いていた場合は、不正行為となりますので注意してください。

◇新型コロナウイルス感染症などへの対応について◇

人事院ホームページ「採用試験の重要情報」又は「国家公務員試験採用情報NAV I」の各試験のお知らせ欄に掲載しますので、必ず御確認ください（情報は随時更新されます。）。

◇多肢選択式試験の正答番号の公表について◇

第1次試験の「基礎能力試験（多肢選択式）」及び「学科試験（多肢選択式）」の正答番号については、人事院ホームページ（国家公務員試験採用情報NAV I）の「試験情報」に、9月28日（月）11:00から10月5日（月）17:00まで掲載します。掲載直後はアクセスが集中し、つながりにくくなることがありますので、時間をおいてアクセスしてください。なお、電話による正答番号の照会に対する回答は行っておりませんが、インターネットで見ることができないなど「正答番号の公表」に関する問合せ先は、人事院人材局試験専門官室（電話（03）3581-5327）です。

インターネット申込みの流れ

受験申込者	人事院
Step 1 パソコンの利用環境をチェック ▶ チェック可能期間：6月10日（水）9:00～	
✓インターネット申込専用アドレスへアクセス ★お使いのパソコンで申込手続きが可能かどうか事前にチェックできます。 ★パソコン・スマートフォンの機種や環境等により、利用できない場合があります。	
Step 2 事前登録・申込み ▶ 申込受付期間：7月10日（金）9:00～7月23日（木）[受信有効]	
2-1 「事前登録」のためのデータ入力 ★「パスワード」「パスワードを忘れた際の質問・回答」を控えておいてください。 ★個人で設定したパスワードの照会には応じられません。 2026年度に行われる他の国家公務員採用試験において、既に事前登録を行っており、ユーザーIDを持っている場合は、事前登録は不要です。 『2-3「申込み」のためのデータ入力』からお進みください。	「事前登録」受信 ↓
2-2 「事前登録完了通知メール」受信 ★このメールは必ず保存してください。 ★事前登録だけでは申込完了になりません。	「事前登録完了通知メール」送信 ★「ユーザーID」を通知
2-3 「申込み」のためのデータ入力 2-4 「申込受付完了通知メール」受信 ★このメールは必ず保存してください。	「申込み」受信 「申込受付完了通知メール」送信
Step 3 受験票作成 ▶ ダウンロード期間：9月11日（金）13:00～9月24日（木）17:00	
「受験票発行通知メール」受信 ↓	「受験票発行通知メール」送信 （9月11日（金）13:00～17:00）
3-1 パーソナルレコードにログイン ★期間を過ぎた場合はダウンロードできません。	
3-2 受験票（PDFファイル）ダウンロード・印刷 ↓	
3-3 受験票作成 ★A4サイズのコピー用紙（普通紙）に印刷。 （カラー・白黒どちらでも可。） ★貼合せ・穴開け・写真のアップロード又は貼付など、必ず指示どおりに作成の上、第1次試験当日に持参する。	

◇合格者の発表◇

合格者の受験番号は、以下のインターネット合格者発表専用アドレスで確認することができます。

なお、掲載直後はアクセスが集中し、つながりにくくなるおそれがあるため、事前に次のアドレスをブックマーク等に登録し、直接アクセスすることを推奨します。

[\[https://www.jinji-shiken.go.jp/goukaku.html\]](https://www.jinji-shiken.go.jp/goukaku.html)

インターネットによる合格者発表に関する問合せ先は、人事院人材局試験課（電話（03）3581-1554）です。

	一般課程・管制課程・海洋科学課程	航空課程
第1次試験合格者発表	10月14日（水）9:00	
第2次試験合格者発表		11月24日（火）9:00
最終合格者発表	11月24日（火）9:00	2027（令和9）年1月14日（木）9:00

「第1次試験合格通知書」、「第2次試験合格通知書」（航空課程のみ）及び「最終合格通知書」は、パーソナルレコードにログインし、ダウンロードしてください。「第1次試験合格通知書」、「第2次試験合格通知書」（航空課程のみ）及び「最終合格通知書」は再発行できませんので、指定の期間内に必ずダウンロードしてください。

第2次試験の日時・試験場については、「第1次試験合格通知書」で指定していますので、ダウンロードできない場合は、10月16日（金）17:00までに受験した試験地に対応する海上保安本部等（12ページ参照）に問い合わせてください。

また、第3次試験（航空課程のみ）の日時・試験場については、「第2次試験合格通知書」で指定していますので、ダウンロードできない場合は、11月26日（木）17:00までに受験した試験地に対応する海上保安本部等（12ページ参照）に問い合わせてください。

なお、「第1次試験合格通知書」で指定する第2次試験の日時及び「第2次試験合格通知書」（航空課程のみ）で指定する第3次試験の日時の変更は、原則として認められません。

◇個人の試験結果（成績）について◇

個人の試験結果（成績）については、国家公務員試験採用情報NAVIで確認できます。

掲載期間中にパーソナルレコードにログインし、試験結果をダウンロードしてください。掲載期間は、国家公務員試験採用情報NAVIで御確認ください。

◇採用・給与等◇

1 採用方法及び採用時期

最終合格者は、試験の区分ごとに作成する採用候補者名簿（1年間有効）に得点順に記載されます（最終合格者数は、辞退者数を考慮して決定されます。）。

海上保安学校では、この名簿に記載された者の中から本人の成績等を考慮の上、採用のための意向調査を行い、最終的に採用者（入校者）を決定します。

採用者（入校者）は、2027（令和9）年4月に一斉に入校することになります。

（ただし、一般課程の最終合格者のうち、高等専門学校の商船学科在学中で、かつ、2027（令和9）年9月30日までに卒業見込みの者については、希望に応じて採用（入校）時期を2027（令和9）年4月から、同年10月に変更することができます。）

これらの手続きについては、最終合格者発表日後に海上保安学校から説明書が送付されますので、それを参照してください。御不明な点は、海上保安庁総務部教育訓練管理官付試験募集係（電話（03）3580-0936）又は海上保安学校事務部人事厚生課人事係（電話（0773）62-3520）へ御連絡ください。）

2 給与

採用当初(海上保安学校での在学期間)の額は、214,321円です。(注1)

現場配属後の額は、286,332円です。(注2)

(注) 1 この額は、2026(令和8)年4月1日現在の「一般職の職員の給与に関する法律」の規定によるもので、行政職俸給表(一)1級5号俸が適用され、海上保安学校(舞鶴市)入校時における給与の例です。

2 この額は、2026(令和8)年4月1日現在の「一般職の職員の給与に関する法律」の規定によるもので、公安職俸給表(二)1級7号俸が適用され、大型巡視船に乗船した場合における給与の例です。

3 上記のほか次のような諸手当が支給されます。

扶養手当…扶養親族のある者に支給。子月額13,000円等

単身赴任手当…採用・異動に伴ってやむを得ない事情により配偶者と別居した者等に、月額最高100,000円

期末手当・勤勉手当(いわゆるボーナス)…1年間に俸給等の約4.65月分

◇2025年度の実施結果◇

(単位：人)

試験の区分 \ 項目	申込者数	第1次試験 合格者数	第2次試験 合格者数	最終合格者数
一般課程	1,691 (308)	854 (151)	—	495 (103)
航空課程	205 (17)	28 (1)	24 (1)	11 (1)
管制課程	42 (15)	12 (5)	—	9 (4)
海洋科学課程	65 (29)	23 (12)	—	19 (11)
計	2,003 (369)	917 (169)	24 (1)	534 (119)

(注) () 内の数字は、女性を内数で示す。

◇卒業すると◇

○ 一般課程(教育期間1年)

巡視船艇等に乘組み、船舶の運航(航海コース)、機関の運転整備(機関コース)、通信運用・保守(通信コース)、調理・経理等(主計コース)、航空基地やヘリコプター搭載型巡視船での航空機の整備(航空整備コース)などの業務を担い、領海警備、海難救助、海上犯罪の取締り、海上交通の安全確保、海上災害及び海洋汚染の防止等の業務に従事します。また、海上保安部署等での陸上勤務もあります。通信コースは卒業後に、通信施設の保守・管理等に必要な知識・技能等を習得するための約4カ月間の研修を受講した後、現場に赴任します。

○ 航空課程(教育期間1年)

固定翼(飛行機)と回転翼(ヘリコプター)の要員に分かれ、さらに一定期間の教育を受けた後、飛行機又はヘリコプターの操縦士として、領海警備、海難救助、海上犯罪の取締り、海上交通の安全確保、海上災害及び海洋汚染の防止等の業務等に従事します。

○ 管制課程(教育期間2年)

主に、運用管制官として、海上交通センター等において、航行船舶の動静を把握し、船舶の安全な航行に必要な情報の提供や、大型船の航路入航間隔の調整等を行う業務に従事します。また、巡視船や海上保安部等での勤務もあります。

○ 海洋科学課程(教育期間1年)

本庁、管区本部、測量船等に勤務し、海洋観測、測量、海図の作製等の業務に従事します。

―― 幹部登用への道 ―――

海上保安学校の卒業生は、全ての課程において、所定の実務経験のあと、海上保安大学校の特修科に進むことにより、将来幹部として活躍する道も開かれています。

◇問合せ先◇

問合せの内容により、人事院人材局試験課、下表の海上保安本部等又は人事院各地方事務局・沖縄事務所に御連絡ください（9:00～17:00（土・日曜日及び祝日等の休日は除く。））。

1 インターネット申込み、受験票及び合格通知書のダウンロード方法に関する問合せ

人事院人材局試験課 電話 (03) 3581-1554

なお、インターネット申込用のホームページ（7ページ参照）にはQ&Aがありますので、そちらも参照してください。

2 その他試験に関する問合せ

- (1) 転居による試験地の変更
- (2) 身体の障害等による措置の申出
- (3) 受験票の内容
- (4) 合格者発表
- (5) 合格通知書の内容

第1次試験地	問合せ先	電話番号
札幌市	第一管区海上保安本部	(0134)27-0118
函館市	函館海上保安部	(0138)42-1118
小樽市	小樽海上保安部	(0134)27-6118
旭川市	第一管区海上保安本部	(0134)27-0118
釧路市	釧路海上保安部	(0154)22-0118
青森市	青森海上保安部	(017)734-2423
盛岡市	第二管区海上保安本部	(022)363-0111
仙台市	宮城海上保安部	(022)363-0114
秋田市	秋田海上保安部	(018)845-1621
水戸市	茨城海上保安部	(029)263-4118
東京都	第三管区海上保安本部	(045)211-1118
横浜市	横浜海上保安部	(045)671-0118
新潟市	新潟海上保安部	(025)247-0118
長野市	第九管区海上保安本部	(025)285-0118
静岡市	清水海上保安部	(054)353-1118
名古屋市	第四管区海上保安本部	(052)661-1611
金沢市	金沢海上保安部	(076)266-6118
福井市	敦賀海上保安部	(0770)22-0666
京都市	第八管区海上保安本部	(0773)76-4100
舞鶴市	舞鶴海上保安部	(0773)76-4120

第1次試験地	問合せ先	電話番号
大阪市	大阪海上保安監部	(06)6571-0221
神戸市	第五管区海上保安本部	(078)391-6556
和歌山市	和歌山海上保安部	(073)402-5850
米子市	境海上保安部	(0859)42-2532
広島市	第六管区海上保安本部	(082)251-5111
高松市	高松海上保安部	(087)821-7013
松山市	松山海上保安部	(089)951-1196
高知市	高知海上保安部	(088)832-7113
福岡市	福岡海上保安部	(092)281-5866
北九州市	第七管区海上保安本部	(093)321-2931
長崎市	長崎海上保安部	(095)827-5133
佐世保市	佐世保海上保安部	(0956)31-4842
対馬市	対馬海上保安部	(0920)52-0640
熊本市	熊本海上保安部	(0964)52-3103
大分市	大分海上保安部	(097)521-0112
宮崎市	宮崎海上保安部	(0987)22-3022
鹿児島市	第十管区海上保安本部	(099)250-9800
奄美市	奄美海上保安部	(0997)52-5811
那覇市	第十一管区海上保安本部	(098)867-0118
石垣市	石垣海上保安部	(0980)83-0118

海上保安庁ホームページ、海上保安学校ホームページに海上保安庁の業務内容や海上保安学校の教育内容などの情報を掲載しています。

- 海上保安庁ホームページ [\[https://www.kaiho.mlit.go.jp/recruitment/\]](https://www.kaiho.mlit.go.jp/recruitment/)
- 海上保安学校ホームページ [\[https://www.school.kaiho.mlit.go.jp/\]](https://www.school.kaiho.mlit.go.jp/)

3 合格者発表に関する問合せ

問合せ先	電話番号
人事院北海道事務局	(011) 241-1248
人事院東北事務局	(022) 221-2022
人事院関東事務局	(048) 740-2006～8
人事院中部事務局	(052) 961-6838
人事院近畿事務局	(06) 4796-2191

問合せ先	電話番号
人事院中国事務局	(082) 228-1183
人事院四国事務局	(087) 880-7442
人事院九州事務局	(092) 431-7733
人事院沖縄事務所	(098) 834-8400
海上保安学校	(0773) 62-3520

◇個人情報の管理について◇

入力された個人情報については、個人情報の保護に関する法律に従い、人事院及び海上保安庁において適正に管理します。なお、学歴等の事項は、試験結果の分析、今後の効率的な募集活動等に資するために用いるものであり、試験の結果に影響を与えるものではありません。